

ベニコンゴウインコの問題行動に対する対策の実施例について

上夏井あずさ
よこはま動物園

よこはま動物園では猛禽類・インコ類を中心としたバードショーを行っており、ベニコンゴウインコもショーバードとして活躍している。この個体はトレーニングの空き時間に翼を踏む行動が見られており翼の羽の損傷が問題となっている。今回、この問題行動への対策を検討し、実施・評価した。ケージ内へのおもちゃの設置やケージから出す時間を延ばすなど、気をそらす対策を行ったが効果がなかった。そのため、問題行動が出る頻度が低くなるような工夫や行動に対する飼育員のアクションを無くすなどして、行動の増減を観察したが、改善には至らなかった。ただし、給餌前の時間帯に問題行動が多く観察されるなど、餌との関連性が推察されたため、今後は給餌の仕方に工夫をし、効果を確認していく方針である。問題行動の原因を特定し対策することが一番有効と思われるが難しいため、観察などを通じて対策、評価し、問題行動をなくす、または軽減に努めたい。